

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-
		スーパー（企画担当）	・新規商品の投入があり、集客につながると考えられる。
		コンビニ（経営者）	・例年、年始は客数が伸び、客単価も上がるので売上が期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・年末から年明けにかけては、一般の観光客が多くなるので良くなるとみられる。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・年末年始の繁忙期を迎える。消費税増税の影響は今のところさほどないように見える。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月先の客室稼働率は、前年実績並みに回復される見込みである。ただし大幅に改善されるわけではなく、まだまだ厳しい状況は依然変わらない。年末年始の需要も例年どおりで大きく増えているわけではない。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅展示場への来場組数が2か月連続で増加し、2世帯住宅計画の来場者も6か月連続で増えている。
		百貨店（店舗企画）	・2014年の消費税増税後よりも回復が遅く、免税売上の苦戦も重なり、しばらく低迷が続くとみている。
		スーパー（販売企画）	・消費税増税の影響は落ち着いている感があることや、5%ポイント還元の効果も感じるので景気は若干良い状況で変わらないと考えられる。
		コンビニ（代表者）	・増税後の一時的な買い控えから多少持ち直してきたと感じられる。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は天候的にも暑い日が続く、客の購買意欲は感じられない。消費税増税の影響もあるとみられる。景気は良くない状態が続いており、今後はまだ分からない。
		旅行代理店（マネージャー）	・年末年始の手配も動いてはいるが、沖縄の客は手配発生が他県の感覚よりも相当遅く金額も高いので、個人でLCC航空券を選択することが多い。全体的にはほぼ例年並みで推移している。
		通信会社（営業担当）	・春の商戦期までは現在の落ち込みを回復させる施策もなく、今の状態が続くのではないかと予想している。
		住宅販売会社（代表取締役）	・下請会社の人手不足があり、これ以上の完工高の増加は見込めず現状のまま推移するとみられる。
		通信会社（サービス担当）	・消費税増税前の駆け込み需要などの購入で、その後の消費者の購買意欲が低下し、携帯電話の販売の変化があって動きは少ない。
		観光名所（職員）	・予約状況がやや悪い。
	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの予約状況が他社を含め芳しくなく、また消費税増税の影響もあり景気の回復は見込みにくい。	
	×	商店街（代表者）	・商店街では近年、同業種、特に飲み屋が多くなり、お互いに足の引っ張り合いをしている。また、一部の客は商店街の外の大型店に引っ張られているように見受けられる。商品等の購入は大型店になり、商店街の中は飲食業が多くなりすぎて、危惧している様子である。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・飲食パターンに地域分散化、少人数化、中食という変化があり、コンビニイトイン等のライバルも増加している。極度の求人難、増税、働き方改革による時短や時給の上昇による経営圧迫等、解決すべき難問題が多々ある。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・例年韓国人観光客が増える冬の時期に、今のような状況が続くと悪くなることが予想される。宿泊施設の過剰増加もあり、値下げ競争となることが予想される。年明けは厳しくなる。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		建設業（経営者）	・やっと具体的な新築相談の客が来社するようになった。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・需要は横ばい状況が続く見通しである。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島はホテルや量販店等の民需や、港湾、公共建築等の官需が共に増勢で、更に宮古島は陸上自衛隊関連の建設工事も順調で生コンの出荷は増大している。ただしアスファルトは依然として低迷している。
		輸送業（経営企画室）	・消費税増税の影響は大きくないようにみられる。沖縄では新規出展業態の店舗展開が続いているため一過性ではあるが消費は多少増加するのではないかと予想され、好調な景気を維持するのではないかと考えられる。

		広告代理店（営業担当）	・県内の消費市場は観光消費にも支えられ順調に推移するものとみられるが、県内企業を取り巻く競争環境は相変わらず厳しいことから、販売促進にかかる投資については現状維持を確保できれば良し、と感じている。
		食料品製造業（総務）	・値上げした商品の動きが鈍く販売量が落ち込んでいる。
		会計事務所（所長）	・消費税増税の影響や、海外観光客数の動向から判断している。
	x	-	-
雇用 関連  (沖縄)		求人情報誌製作会社（編集室）	・1月は新年度のスタートということもあり、どの業種においても忙しくなり、求人広告の投稿が望める。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・毎年年末に向けて求人数も求職者数も増加傾向にある。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・2021年卒の求人の動きも始まり、就職市場が活発になる。
		人材派遣会社（総務担当）	・求職者の問合せが少ない。
		職業安定所（職員）	・2～3か月の短期間に景気悪化となることはないと考えるが、自動車製造業界の期間工の採用をストップし始めているメーカーが出てきており、リーマンショックの前も同様の状況が、雇用悪化のスタートになった経験があるため、今後中長期的に景気悪化を懸念している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・例年どおり、来年度向けの採用活動で企業の動きが活発になってきた。採用人数が気になるところである。
		-	-
	x	-	-